

資料 ⑦  
公共事業評価委員会  
平成25年12月5日(木)  
横浜市

平成25年度 第2回  
横浜市公共事業評価委員会

【報告事項】

意見具申に対する対応状況報告

- ・ 都市基盤河川改修事業
- ・ 準用河川改修事業  
(道路局)

## 事業評価に係る意見具申に対する対応状況調査票〔一括報告用〕

報告年度	平成25年度	平成10年度意見具申
全体事業名	都市基盤河川改修事業	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858
意見具申	<p>ア 治水事業に当たっては、河川改修だけでなく、流域の土地利用を含めて都市計画とのかかわりを踏まえつつ、総合的な計画との整合を図り、整備検討すること。</p> <p>イ 河川事業における河川環境整備は、都市の環境形成への貢献は大きいですが、今後整備の進捗に伴い維持・管理費用が増すことも考えられるので、維持・管理費を含め総合的に検討すること。</p> <p>ウ 県に管理権限がある二級河川については、市内で流域が完結する河川について、市への管理移管を総合的視点から検討すること。</p>	
意見具申に対する対応	<p>ア 河川事業を進めるに当たっては、流域内の土地利用計画や他事業との整合を検討し、街づくりと一体となった整備を進めます。</p> <p>イ 維持管理については、水辺愛護会や市民の皆様のご協力を得ながら効率的な維持管理に努めてまいります。</p> <p>ウ 市内で完結する河川については、本市で管理を行い市民とともに良好な街づくりを行ってまいりたいと考えております。そのため、他の指定都市などと共同しながら、管理権限の移譲について、国、県に要望してまいります。</p>	
対応状況及び進ちよく見込み ※	<p>アについて：各河川の流域の土地利用を考慮し、次のとおり整備を実施しています。</p> <p>(河川―2；帷子川) 河川改修後に旧川敷を活用し、周辺の住民が憩える空間を整備</p> <p>(河川―3；今井川) 流域の市街化が著しい条件を考慮して土地利用を検討し、降雨時の洪水貯留施設として、道路下に地下調節池を整備</p> <p>(河川―5；阿久和川) (河川―6；いたち川) 計画道路と競合する一部区間について、道路事業と調整して橋梁架替え工事を実施</p> <p>(河川―7；和泉川) 河川周辺の公園整備計画や緑地保全事業と整合を図り、親水拠点などの河川環境整備を実施</p> <p>(河川―9；宮川) 管理用通路と開発に伴う公開空地を一体化し整備</p> <p>(河川―10；舞岡川) 降雨時に洪水を貯留する河川遊水地を地下に計画し、上部を公園として整備(今年度完成予定)</p> <p>イについて：水辺愛護会により、清掃や除草活動等の維持管理を実施しています。</p> <p>ウについて：河川法の改正(平成12年4月)により管理権限の移譲が可能となり、鶴見川水系の3河川(梅田川、砂田川、鳥山川)、境川水系の2河川(平戸永谷川、宇田川)が管理権限移譲となりました。引き続き、管理権限移譲に向けて、国・県と協議中です。</p>	

※対応状況及び進ちよく見込みは、時期を記載して下さい。

番号	平成10年度 河川－2		
事業名	都市基盤河川改修事業 帷子川改修事業		
事業期間	当初：昭和62年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和62年度～平成34年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成10年度 河川－3		
事業名	都市基盤河川改修事業 今井川改修事業		
事業期間	当初：昭和62年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和62年度～平成39年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成10年度 河川－5		
事業名	都市基盤河川改修事業 阿久和川改修事業		
事業期間	当初：昭和60年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和60年度～平成31年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成10年度 河川－6		
事業名	都市基盤河川改修事業 いたち川改修事業		
事業期間	当初：昭和60年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和60年度～平成31年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

※事業数により適宜、表を削除してください。

番号	平成10年度 河川－7		
事業名	都市基盤河川改修事業 和泉川改修事業		
事業期間	当初：昭和60年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和60年度～平成29年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成10年度 河川－9		
事業名	都市基盤河川改修事業 宮川改修事業		
事業期間	当初：昭和56年度～平成17年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和56年度～平成29年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成10年度 河川－10		
事業名	都市基盤河川改修事業 舞岡川改修事業		
事業期間	当初：昭和58年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和58年度～平成26年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

※事業数により適宜、表を削除してください。

【様式 1-2】

事業評価に係る意見具申に対する対応状況調査票〔一括報告用〕

報告年度	平成25年度	平成14年度意見具申
全体事業名	準用河川改修事業	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858
意見具申	<p>ア 費用対効果分析の算出方法について、都市部であることの特性を踏まえ、間接被害についてより適切な評価ができるよう検討するとともに、評価に必要なデータの蓄積を行うこと。</p> <p>イ 河川改修事業は、対象河川全体を整備しないと十分な効果が発揮できないため、できるだけ早急かつ重点的に整備するよう今後とも努力すること。</p>	
意見具申に対する対応	<p>アについて：費用対効果の算出方法について、都市部であることの特性を踏まえ、間接被害についてより適切な評価ができるよう検討します。また、評価に必要なデータの蓄積に努めます。</p> <p>イについて：河川改修事業の実施にあたっては、事業費の重点配分、効率的な事業執行により、事業期間の短縮を図るなど費用対効果が十分発揮できるよう、重点的整備について努力します。</p>	
対応状況及び進ちよく見込み ※	<p>アについて：他都市の状況を調査し、横浜市の河川の特性として、遊水地内に整備した公園の効果などの検討を行い、平成24年度の委員会で報告しております。</p> <p>イについて：河川改修事業の実施にあたり、下記の項目をふまえて優先度順位付けを行い、治水効果の早期発現を図れるように効果的・効率的な整備を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年災害の有無及び被災戸数</li> <li>・過年度からの継続事業(遊水地、橋梁、補償など)の有無</li> <li>・完成年度</li> <li>・地元要望の有無</li> </ul>	

※対応状況及び進ちよく見込みは、時期を記載して下さい。

## 意見具申対応報告 事業一覧

番号	平成14年度 河川－1		
事業名	準用河川改修事業 奈良川改修事業		
事業期間	当初：平成4年度～平成15年度	当初から長期予定事業	○
	現在：平成4年度～平成28年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成14年度 河川－2		
事業名	準用河川改修事業 日野川改修事業		
事業期間	当初：平成元年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：平成元年度～平成32年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

※事業数により適宜、表を加除してください。

## 事業評価に係る意見具申に対する対応状況調査票〔一括報告用〕

報告年度	平成 2 5 年度	平成 1 5 年度意見具申
全体事業名	都市基盤河川改修事業	
担 当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858
意見具申	<p>ア 横浜における河川改修事業の費用対効果分析の考え方について、新しい基準の調査・検討をすること。</p> <p>イ 宅地開発等に設置が義務づけられている遊水池等について、市民、市の両方にとって効率的・効果的な施設となるように検討すること。</p> <p>ウ 費用対効果分析にあたり、影響を与える浸水面積、流域面積、河床勾配等については、資料に記載すること。</p> <p>エ 河川改修事業については、もともと事業期間が10年以上と想定される事業であり、現行の審査制度が実態に即していない面もあるので、再評価を実施する期間をより適切なものとなるよう国土交通省へ伝えること。</p> <p>オ 神奈川県が見直しをしている境川の改修事業について、横浜市の負担が適切なものとなるように神奈川県へ伝えること。</p> <p>カ 環境に配慮した河川や遊水地は、維持管理について市民団体等へ委ねるなどの仕組みづくりについて検討すること。</p>	
意見具申に対する対応	<p>ア 横浜市の河川特性にあった費用対効果分析手法について、今後、調査・検討します。</p> <p>イ 宅地開発等に設置が義務づけられている遊水池等について、将来にわたる活用など所有者の協力を得ながら施設のあり方について検討します。</p> <p>ウ 費用対効果分析にあたり、影響を与える浸水面積、流域面積、河床勾配等必要事項について資料として記載します。</p> <p>エ 再評価を実施する期間について、河川改修事業の実施期間に即した適切なものとなるよう国土交通省へ伝えます。</p> <p>オ 神奈川県が見直しをしている境川の改修事業の促進を要望するとともに、本市の負担が適切なものとなるよう神奈川県と協議してまいります。</p> <p>カ 現行の水辺愛護会制度等を活用し、市民、市民団体の方々との協働により維持管理ができる仕組みづくりを検討します。</p>	
対応状況及び進ちよく見込み ※	<p>アについて：費用対効果分析手法について、他都市の状況を調査し、横浜市の河川の特長として遊水地内に整備した公園の効果などの検討を行い、平成 20 年度の委員会で報告しております。</p> <p>イについて：宅地開発等に設置が義務づけられている遊水池等について、将来にわたる活用など所有者の協力を得ながら施設のあり方について検討を進め、意見具申前も含めて約 200 箇所の調整池の移管を受けて、維持管理を実施しています。</p> <p>ウについて：浸水面積、流域面積、河床勾配等の必要事項について、平成 1 9 年度の再評価より資料に記載しております。</p> <p>エについて：意見具申を頂いた平成 15 年度においては、当該事業は国土交通省の補助事業であり、国の規定に基づく事業評価を行ってまいりました。現在は、交付金事業となっているため、国の規定に基づく事業評価はありませんが、横浜市独自の制度で事業評価を実施しております。</p> <p>市の公共事業評価制度では、平成 24 年度に再評価期間の見直しをした際、厳しい財政状況を踏まえ、事業を巡る社会経済情勢の変化、事業の投資効果の変化、事業の進ちよく見込み等について、よりきめ細かく検証するため、再評価実施後 5 年間の経過した時点で再評価を行うこととしました。</p> <p>河川事業についても、他の事業同様、5 年で再評価を実施していくこととします。</p>	

<b>対応状況及び進捗の見込み ※</b>	<p>オについて：神奈川県が見直しをしている境川の改修事業の促進を要望するとともに、本市の負担が適切なものとなるよう神奈川県と協議を行っております。（河川-5；阿久和川）（河川-6；名瀬川）（河川-7；舞岡川）（河川-8；いたち川）（河川-9；和泉川）</p> <p>カについて：水辺愛護会により、清掃や除草活動等の維持管理を実施しています。</p>
-----------------------	---

※対応状況及び進捗の見込みは、時期を記載して下さい。

## 意見具申対応報告 事業一覧

番号	平成15年度 河川－1		
事業名	都市基盤河川改修事業 宮川改修事業		
事業期間	当初：昭和56年度～平成17年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和56年度～平成29年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成15年度 河川－2		
事業名	都市基盤河川改修事業 帷子川改修事業		
事業期間	当初：昭和62年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和62年度～平成34年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成15年度 河川－3		
事業名	都市基盤河川改修事業 今井川改修事業		
事業期間	当初：昭和62年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和62年度～平成39年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成15年度 河川－5		
事業名	都市基盤河川改修事業 阿久和川改修事業		
事業期間	当初：昭和60年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和60年度～平成31年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

※事業数により適宜、表を削除してください。

番号	平成15年度 河川－6		
事業名	都市基盤河川改修事業 名瀬川改修事業		
事業期間	当初：昭和60年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和60年度～平成27年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成15年度 河川－7		
事業名	都市基盤河川改修事業 舞岡川改修事業		
事業期間	当初：昭和58年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和58年度～平成26年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成15年度 河川－8		
事業名	都市基盤河川改修事業 いたち川改修事業		
事業期間	当初：昭和60年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和60年度～平成31年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

番号	平成15年度 河川－9		
事業名	都市基盤河川改修事業 和泉川改修事業		
事業期間	当初：昭和60年度～平成22年度	当初から長期予定事業	○
	現在：昭和60年度～平成29年度予定	何らかの事情により遅延	
担当	道路局 河川計画課	氏名 森田、白川 TEL 671-2858	

※事業数により適宜、表を削除してください。

# 帷子川(親水緑道)



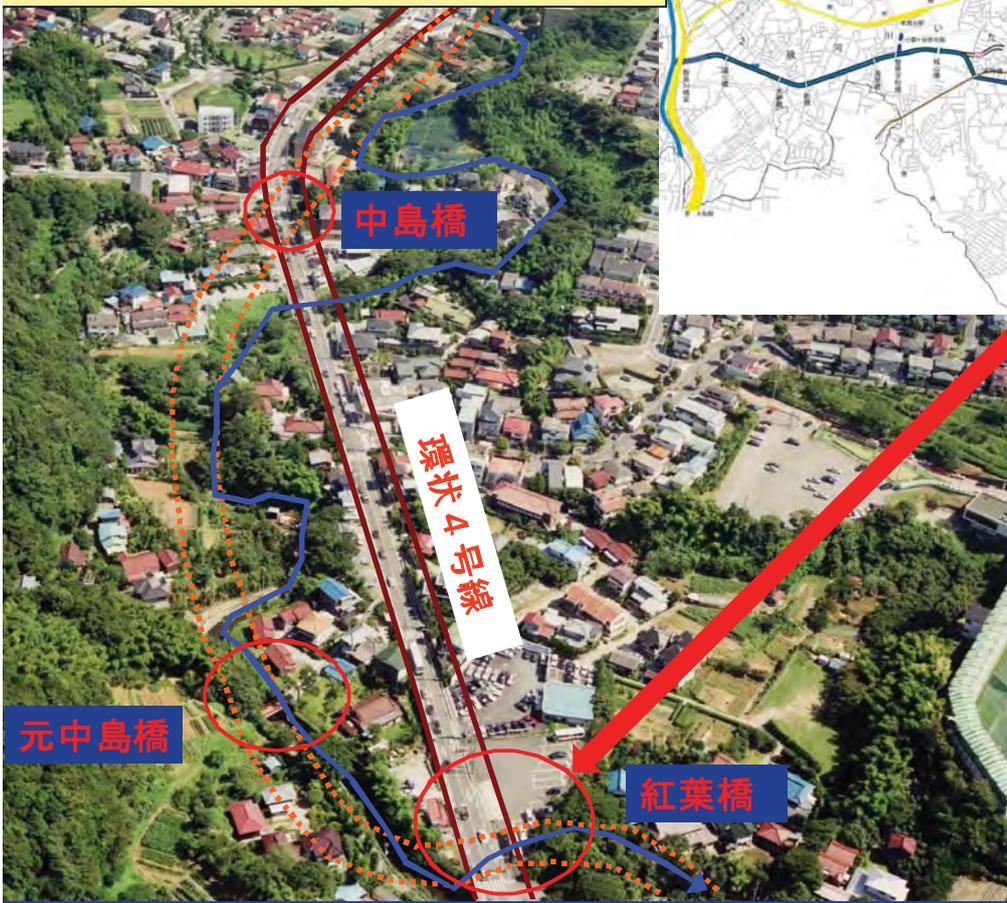
# 帷子川(親水緑道)



# 今井川(地下調節池)



# いたち川(道路事業と調整)



# 和泉川(東山の水辺)



# 宮川(新瀬戸橋上流)



# 宮川(新瀬戸橋上流)



# 舞岡川(舞岡川遊水地)



## 平成25年度の予算規模と実施方針【横浜市】

### 【河川整備の方針】

本市では、時間降雨量約50mm～60mmに対応するべく河川改修等を進めています。しかし、急激な市街化の進展により流域の保水・遊水機能が低下したことにより、未改修流域では浸水被害が起きやすくなっています。このような状況を踏まえ、早期完成に向け治水対策を行い、市民の安全・安心の確保を推進する必要があります。

平成25年度の実施方針としましては、本市予算規模の縮減に伴い、継続工事や、過年度からの交渉中の用地買収など義務的箇所を行うことに重点化し、かつ、社会資本総合整備計画など期間中（H26まで）の浸水被害解消目標に対し、事業集中することにより、効果的・効率的な浸水対策を実施します。

### 【概算要求からの変更点(社会資本整備総合交付金事業のみ)】

今井川	(1,415百万円→1,484百万円)	岩間川橋りょう架替え工事、用地買収、護岸工事	ほか
帷子川	(486百万円→150百万円)	用地買収	ほか
舞岡川	(450百万円→326百万円)	遊水地建設工事(越流堤、電気設備、機械設備)	ほか

# 平成25年度予算 優先整備河川(横浜市)

## 【優先順位とその考え方】

交付金事業の優先度を決定するに当たり、以下の項目について検討しました。

- ・近年災害の有無と被害件数
- ・完成年度
- ・大規模構造物の事業実施
- ・地元要望の有無

順位	事業	河川名(工区名)	近年災害		完成年度		大規模構造物		地元要望		近年災害		完成年度		大規模構造物		地元要望		その他 考慮事項	計
			H20.8豪雨	H16台風	H25	H26	H27	遊水地	その他	協議会	市長・各党	H20.8豪雨	H16台風	H25	H27	遊水地	その他	協議会		
1	都市基盤	舞岡川	0	24	44	○	○	○	○	○	7	3	10	10	5	5	10	45		
2	都市基盤	今井川	0	114	14	○	○	○	○	○	10	3	5	5	5	10	38			
3	都市基盤	名瀬川	0	0	0	○	○	○	○	○	5	10	10	10	5	10	30			
4	都市基盤	帷子川	0	20	17	○	○	○	○	○	7	3	3	3	5	10	25			
5	都市基盤	いたち川	0	52	18	○	○	○	○	○	7	3	3	3	5	10	25			
6	都市基盤	和泉川	0	7	12	○	○	○	○	○	5	3	3	3	5	10	23			
7	都市基盤	阿久和川	0	5	17	○	○	○	○	○	5	3	10	10	5	10	23			
8	流貯	境川流域(汲沢中)				○	○	○	○	○										
9	流貯	鶴見川流域(清瀬台中)				○	○	○	○	○										
10	都市基盤	宮川	0	0	1	○	○	○	○	○	5	5	5	5	5	5	20			
11	準用河川	奈良川	0	0		○	○	○	○	○	5	5	5	5	5	5	15			
12	流貯	鶴見川流域(みたけ台中)				○	○	○	○	○										

※点数が同じ場合金額が大きい方を優先

近年水害	得点	重み	評価得点
H20.8ゲリラ豪雨	20		20
H16台風22号	10		10
浸水家屋 100戸以上	7		7
浸水家屋 10戸以上	5		5
浸水家屋 1戸以上	5		5
浸水のみ(床下・床上なし)	1		1
その他	5		5
浸水家屋 100戸以上	3		3
浸水家屋 10戸以上	3		3
浸水家屋 1戸以上	3		3
H21災害	7		7

完成年度	得点	重み	評価得点
H25完成	10		10
～H27完成	5		5

大規模構造物	得点	重み	評価得点
遊水地	10		10
その他	5		5

その他の考慮事項	評価得点
都市基盤河川改修事業	10
土地管理者等(学校・PTA等)	5

## 予算を確保しなければいけない理由

台風や集中豪雨から市民の生命・財産や都市機能を守るため、治水安全度の早期発見の実現に向け、河川改修を継続的かつ停滞すること無く進める必要がある。

このため、過年度からの継続事業(遊水地、橋梁、用地取得など)については、事業の性質上執行を停止すると、今後の河川改修に影響が多いため、継続して行う必要がある。

理由  
市が流域内の治水安全度の早期向上を目指し、市協定を締結し事業促進を図っている。  
教育委員会、学校、PTAに事業説明および工程調整を行ったもの(調整工程をずらすと、学校の修繕工事等により事業実施が困難になる)